

患者の皆様へ

2020年2月20日
救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部科では「音声認識による医療情報入力の有用性の検討と、機械学習による情報の正確性向上」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、「①千葉市において救急搬送される、または過去に救急搬送された患者様 ②千葉大学医学部附属病院ICUに入室となった患者様 ③千葉大学医学部附属病院など、重症患者対応可能な病院に救命対応案件として収容依頼があった患者様」などに対応する際や、患者様の病状を医療者間で共有するために日々行うカンファレンスなどの際の、**医療従事者の音声データ**を利用します。患者様の個人情報はそのデータには含まれません。この研究がどのように行われているのか、情報がどのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡下さい。

1. 研究課題名

「音声認識による医療情報入力の有用性の検討と、機械学習による情報の正確性向上に関する研究」

2. 研究の意義・目的

医療現場における情報収集は、適切な医療の提供のために重要です。しかし、現在用いられている紙や電子媒体への記載・手入力による方法は、多くの情報を収集するには労力を要するため内容に制限が生じます。音声認識は、上記を改善する方法として期待されますが、専門用語の認識率は十分ではないともいわれており、医療現場での有用性は確立していません。また、機械学習が認識率の改善に寄与する可能性も報告されていますが、有用性の確立にはさらなる研究が必要となります。未来の医療情報収集方法の改善のため、音声認識の医療情報入力への有用性の検討や、機械学習による情報の正確性向上に関して研究を行います。

3. 研究の方法

上記患者様に対応する際の、医療従事者の音声データを用いて研究を行います。音声データを機械で認識させ、その認識率を評価するとともに、誤認識を訂正し学習させた後の認識率の向上についても評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究では、個人情報の含まれない音声データを保存し、患者様とデータを結びつけることもありません。研究に関するデータ等は、千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合、原則として結果の公開前であれば、情報の削除や、当該患者様への対応の際には音声の収集を行わない、などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部
本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 救急科・集中治療部
医師 中田 孝明

043(222)7171 内線6534